

## 第1部

演題：「テクノロジーが世界を変える ～歯科技工のデジタル化の現状と近未来～」

抄録：

昨今、歯科界における CAD/CAM 化の進化と広がりは一歩一歩進んでいますが、それ以上に AI（人工知能）・ロボットをはじめとする一般社会の IT 化（デジタル化）には驚くべきものがあります。

また、IT 化により、働き方、文化、価値観も急激に変化しています。

歯科界は特殊な業界といえども、一般社会の変化は当然、受けることになるので、知らずに済ませる、というわけにはいきません。

AI によって歯科技工という仕事なくなるのではないかと、という不安を感じている方もいるかと思いますが、テクノロジーを理解することで対応が可能であり、まずはテクノロジーを軸に現状を知ることが必要だと思います。

## 第2部

演題：「exocad で『CAD デザイン』を、速く、スマートに」

抄録：

歯科技工のテクノロジーで CAD/CAM が今までと異なるのは、設備投資が高額であること、そして毎年維持費あるいはライセンス料、ソフトウェアのアップデート料などがかかることです。高額な機器も数年で新機種への買い替えに迫られます。

また「働き方改革」による労働時間の減少も考慮すると、業務の効率化・高利益率化は必須のことです。たとえば、ジルコニアの製作においては、築盛法が減ってステイン法が増えており、シタリング後の修正が少なくなるような正確なデザインが求められています。

つまり、「CAD ができる」がすでに特別ではなく、「CAD が速くてうまい」がアドバンテージ（優位性）になります。

当セミナーにて、現在の私の CAD デザインのやり方・考え方をデモンストレーションと解説でお伝えします。

参加者の皆様の参考になれば幸いです。